

2 学校経営計画

校訓  
優しさ・発進

学校教育目標  
人格を尊重し、自主性に富み、公正な判断力と強い意志をもち、実行力のある心豊かな生徒を育成する

めざす生徒像

- 志を立て、自分自身を磨き続ける生徒

生活三訓

- 気持ち良くあいさつをする生徒
- 時間をきちんと守る生徒
- 真剣に掃除をする生徒

めざす学校像

- 楽しく、信頼される学校

めざす教師像(教職員の姿勢)

- 生徒の活動につき、かかわりきる
- 見通しをもって、迅速かつ組織的に動く
- 教育活動を生徒と共に創造的に行う

学校経営目標

- 信頼と協調を基盤に据え、一人一人を大切に、実践をとおして主体的に行動できる生徒の育成を図る。
- 研修を深め、授業の創意工夫を図り、基礎・基本の学力をつける。
- 教育環境の整備・充実を図る。
- 家庭や地域との連携を深め、開かれた学校づくりを推進する。

確かな学力の向上

豊かな人間性の育成

まちぐるみによる教育の推進

中期経営目標

- 知識・技能の習得
- 思考力・判断力・表現力の育成
- 学習意欲の向上
- 授業力の向上

- 仲間と支え合い高め合う生徒会活動の推進
- 積極的な生徒指導の推進

- 保護者・地域との行動連携による安全で安心な環境づくりの推進

短期経営目標

努力指標

“共に学び合う授業づくり”  
—東中授業力25の確立—

- 1 生徒と共に授業規律・学習規律をつくる
- 2 共に学び合う授業スタイルをつくる
  - ①チャイムと同時に授業をはじめる。
  - ②聴く姿勢を整えさせる。
  - ③本時のねらいを示す。
  - ④考えさせ表現させる。
  - ⑤学んだことを振り返らせる。
- 3 家庭学習を定着させる
  - a 五教科を中心に各教科が生徒自身がさらに家でも学習してみたいと思う課題を課す。
  - b 全学年とも「自主学習ノート」を活用し生徒の毎日の家庭学習の動機付けを行う。
- 4 共に学び合う授業研究を推進する
  - ①研究テーマに基づき、全教員が2回の授業研究を行う。
  - ②授業研究推進プロジェクトを中心に授業改善の検証・改善(PDCA)を行う。

“共に学び合う集団づくり”  
—生徒による集団づくりの推進—

- 1 小集団を活用して、かかわり合い高め合う学級風土をつくる
  - ①朝読書を定着させる。
  - ②朝学活・終学活、学級活動の時間などで小グループを活用した話し合い活動を行う。
- 2 生徒会を中心として、生徒による自発的・自治的な学校風土をつくる
  - ①生徒会執行部・学年代議員会・各委員会において次の取組を行う。
    - ☆執行部・学年代議員会：授業や学習にかかわる取組(ベル着・着ベル、身だしなみ、聴く姿勢、自主学習ノートなどの家庭学習)、創造的な行事づくり
    - ☆体育委員会：部活動の活発化、ボランティア活動の推進(体育祭)
    - ☆文化委員会：朝読書などの読書活動の推進、掲示ほか取組の見える化(文化祭)
    - ☆美化委員会：毎月の清掃の取組、地域清掃その他のボランティア活動の推進
    - ☆保健委員会：毎日の健康観察、昼食等安全で清潔な環境づくり、残食を減らす取組
- 3 道徳や学級活動・総合的な学習の時間を使って、規範性を育み好ましい人間関係づくりを行う
  - ①「毎日の記録」を書かせ毎朝提出させる。
  - ②規範性をはぐくみ好ましい人間関係づくりを行うことに重点を置いた年間計画に基づき計画的に実践する。
  - ③教材の提示法や授業展開の工夫を行うとともに、人間関係づくりについて研修を行う。
  - ④「学校適応感尺度」の生活に関するアンケートを2回実施し、実態把握に基づいて教育相談等を行う。

“共に学び合う環境づくり”  
—生徒・保護者・地域とつながる—

- 1 学校内外が安全で安心できる環境となるようボランティア活動等を共に行う
  - PTA・ふれあい活動推進協議会・コミュニティ交流協議会等、保護者や地域の活動に積極的に参加し参加させる。(ボランティア活動を記録させ評価する。)
- 2 小中学校が連携して共通の実践を行う
  - 小中連携教育研究会を中心に連携し、授業改善及び生徒指導を行う。
- 3 多様な情報発信を行う
  - 学校通信・学年通信等を定期的(毎月1回以上)発行する。ホームページを充実させる。